

7月14日（火）定例記者会見

資料 4

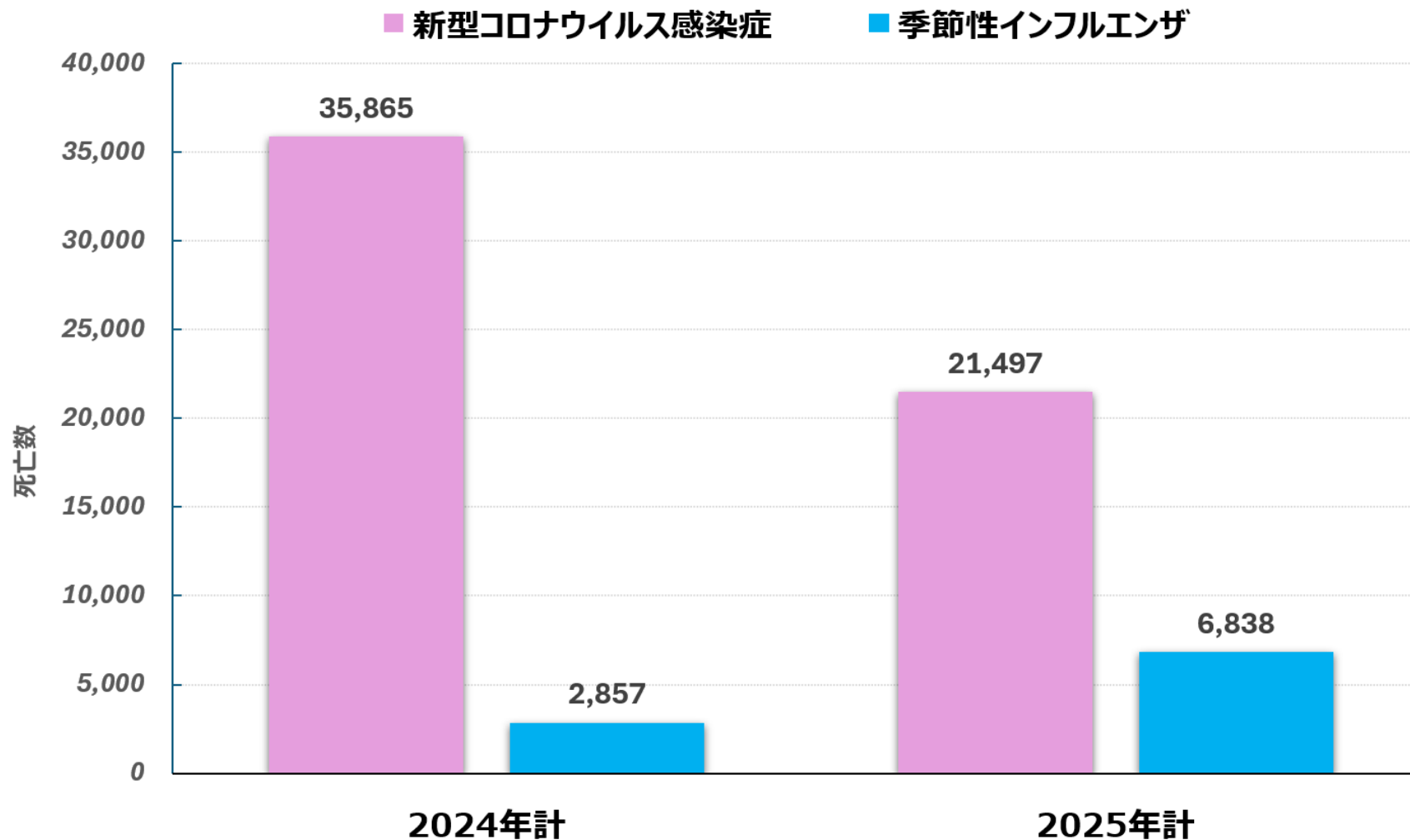
高齢者施設における 新型コロナウイルスワクチン接種の必要性

公益社団法人 東京都医師会

副会長 平川 博之

新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザの年間死亡者数

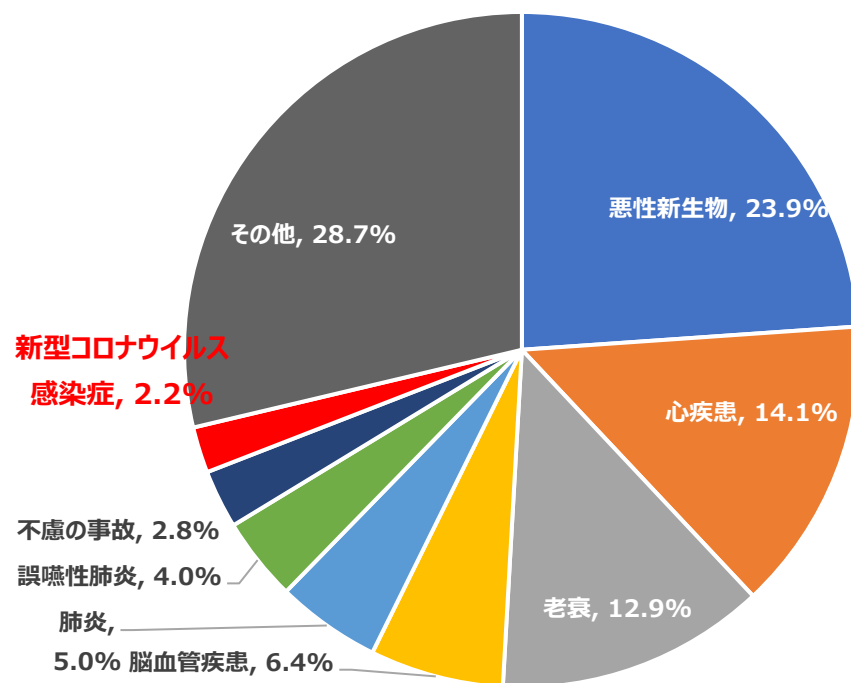
新型コロナウイルス感染症の年間死亡者数は季節性インフルエンザによる死亡を大きく上回る



新型コロナウイルス感染症の死亡者数は我が国の死因の第8位を占める

日本における死因順位（2024年）

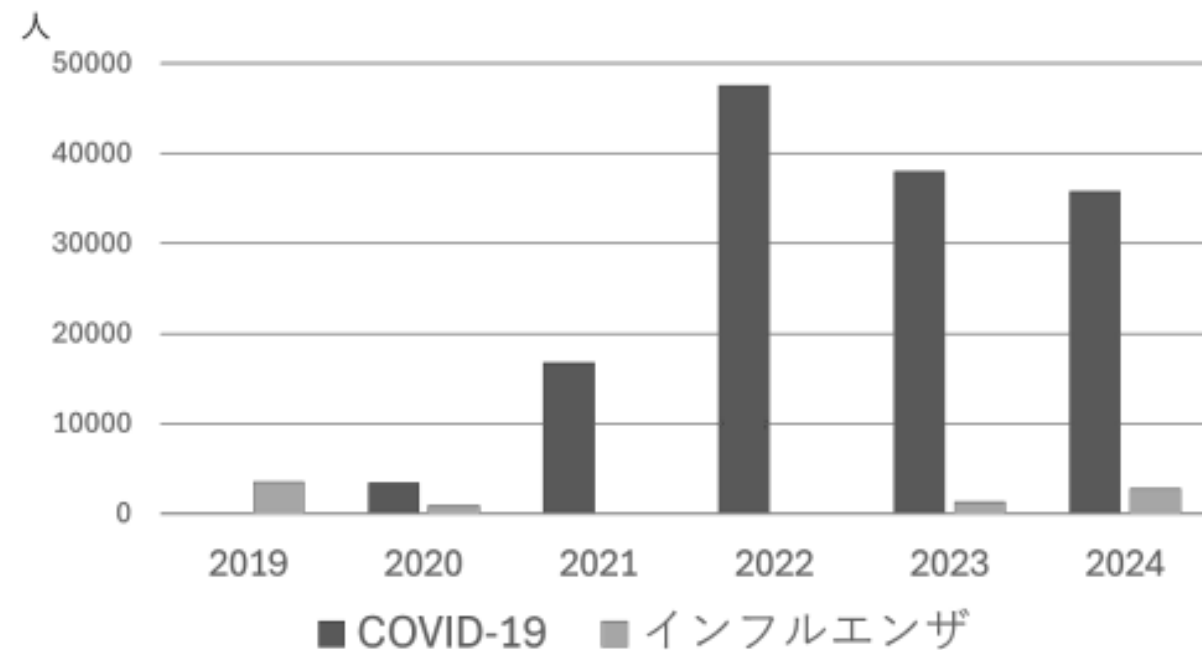
新型コロナウイルス感染症による死亡は、2024年において死因の8位を占めている。



令和6年 人口動態統計 より作成

COVID-19による死亡数（2024年）

わが国の人口動態統計におけるインフルエンザと COVID-19 による死亡数



一般社団法人日本感染症学会、一般社団法人日本呼吸器学会、日本ワクチン学会
2025 年度の新型コロナワクチン定期接種に関する見解

死亡の**97%**は**65歳以上**、**79%**が**80歳以上**である。

新型コロナウイルス感染症の入院届け出数について（2025年）

入院の約半数が80歳以上、約4分の3が70歳以上である。

年齢階級別の入院届出数（2025年1～12月・件）



入院は高齢者に強く集中している。

入院届出 総数

64,616 件

80歳以上

50.5% 32,615件

70歳以上

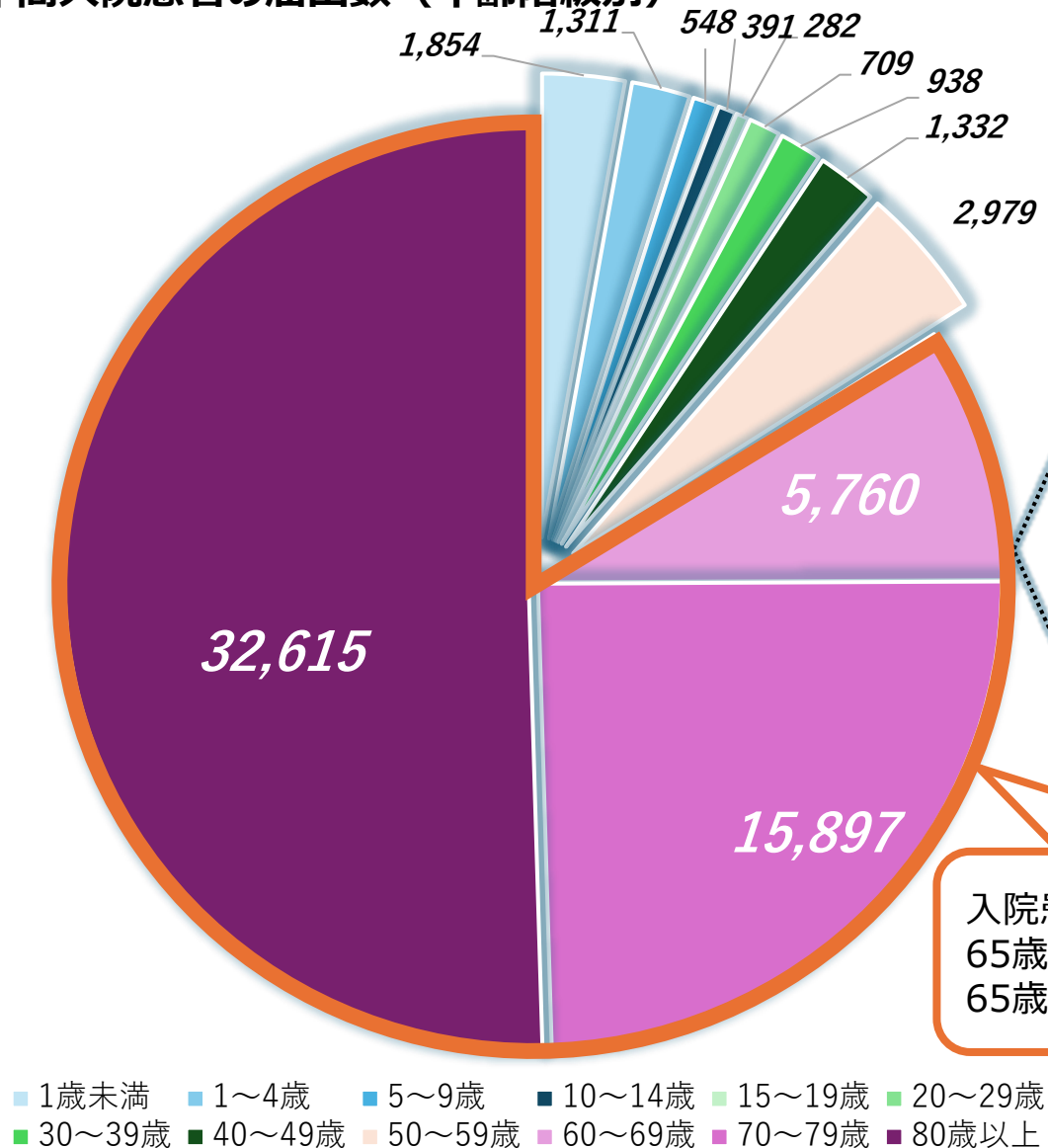
75.1% 48,512件

60歳以上

84.0% 54,272件

高齢者の感染は重症化しやすい『入院の状況（2025年）*』

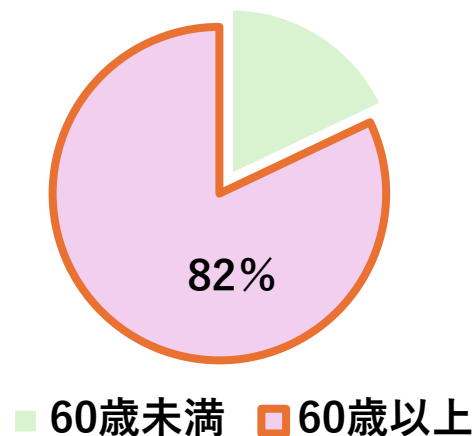
年間入院患者の届出数（年齢階級別）



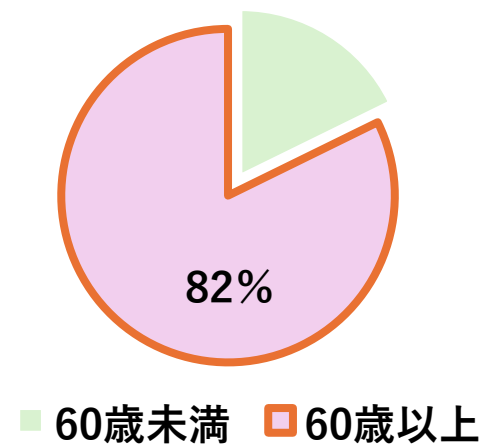
入院時の状況

入院患者数（年計） : 64,616
65歳以上の入院数（年計） : 51,392
65歳以上の入院者数の構成比 : 80%以上

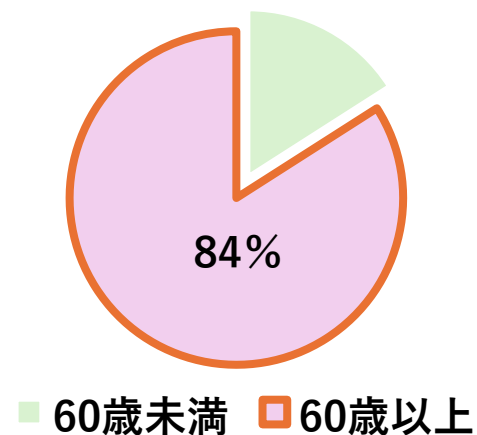
ICU入室



人工呼吸器の利用



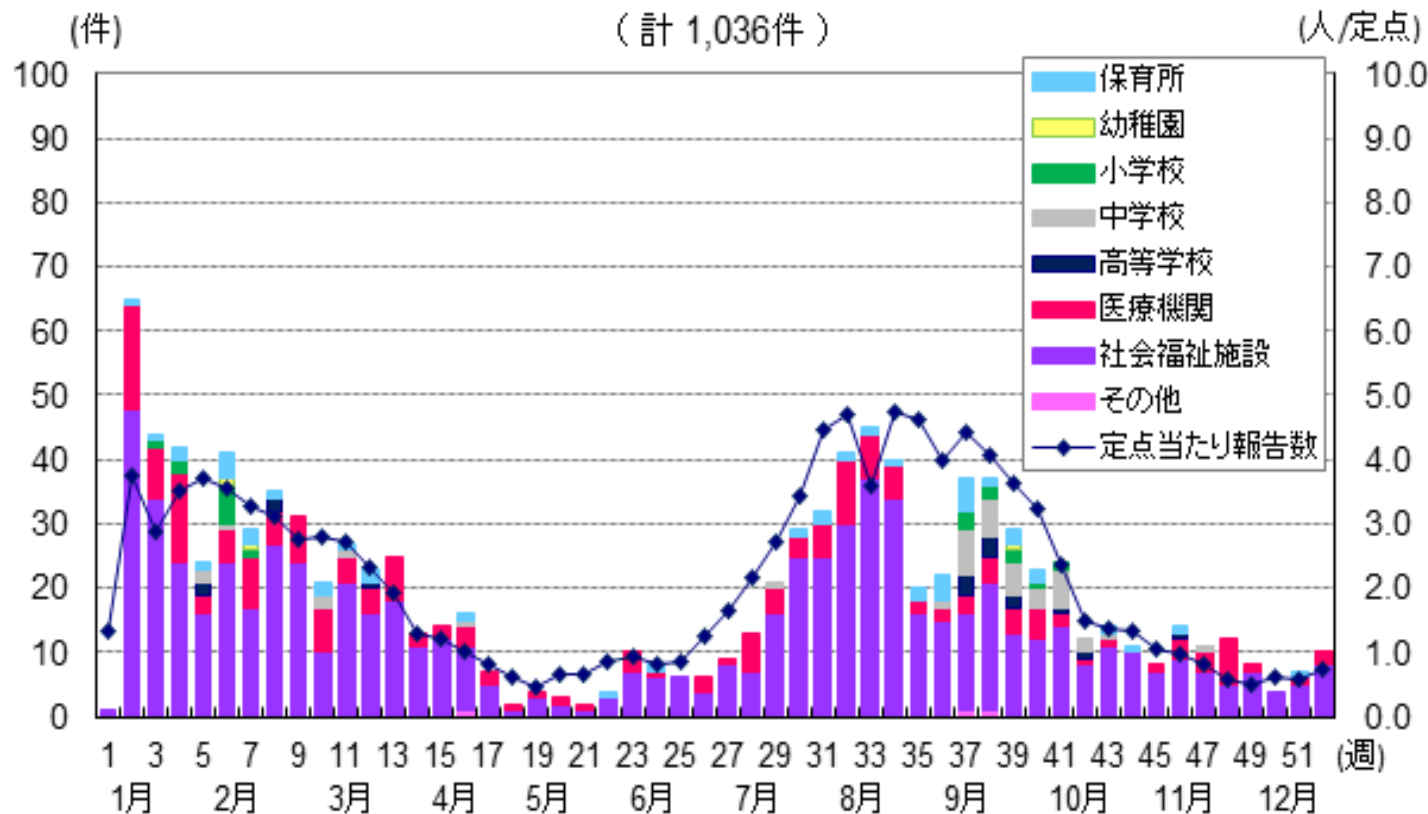
いずれにも該当せず



集団感染事例報告数（東京都 2025年）

社会福祉施設での報告が**全体の約7割**を占めており、これらの施設での感染予防対策は重要

集団事例報告数(施設別)及び定点当たり報告数
(計 1,036件)



	保育所	幼稚園	小学校	中学校	高等学校	医療機関	社会福祉施設	その他	合計
2025年 累計	46	3	19	40	16	190	719	3	1,036

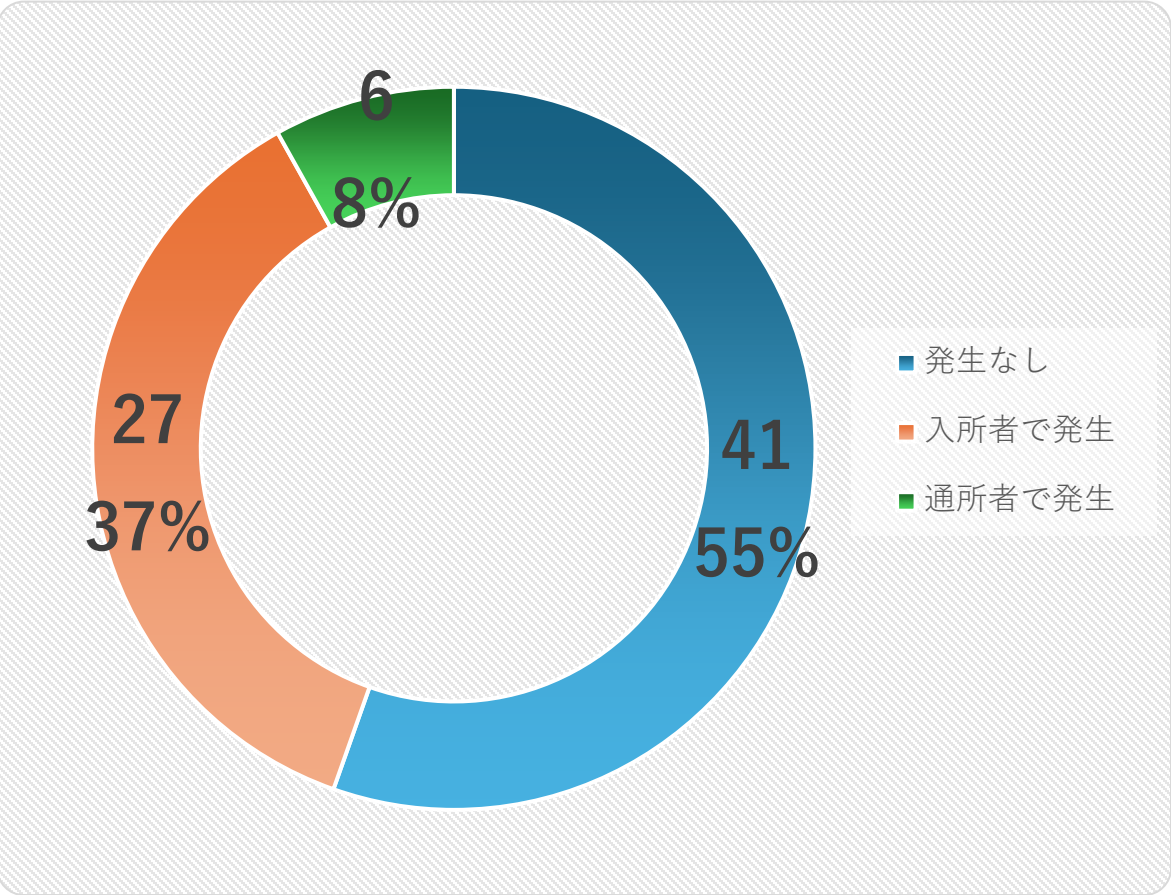
令和8年7月 東京都老人保健施設協会調査

「今年の新型コロナウイルス感染状況について」

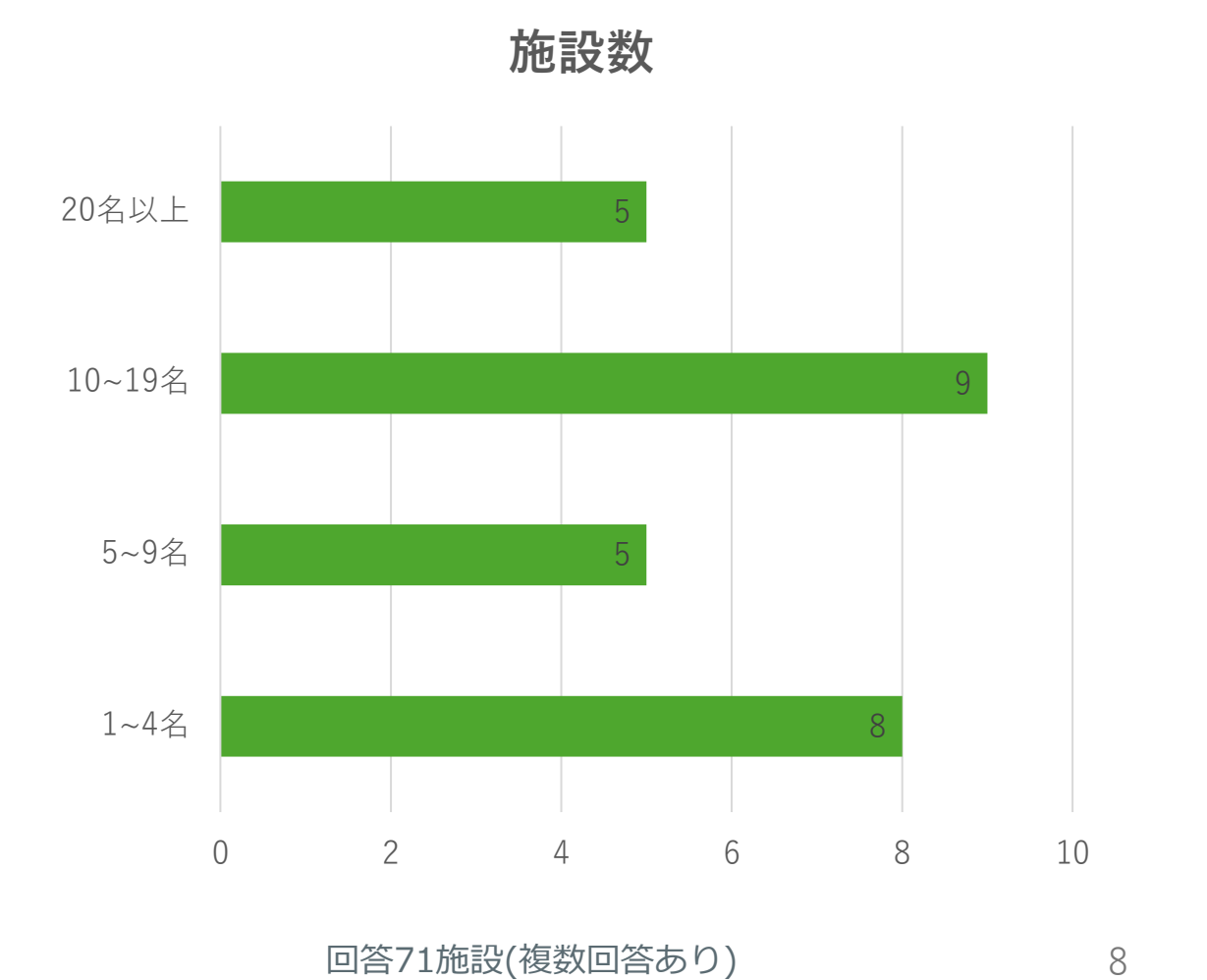
対象：都内 介護老人保健施設 / 回答：71施設

Q. R8年1月以降、施設内で新型コロナウイルス感染はありましたか

感染発生の有無



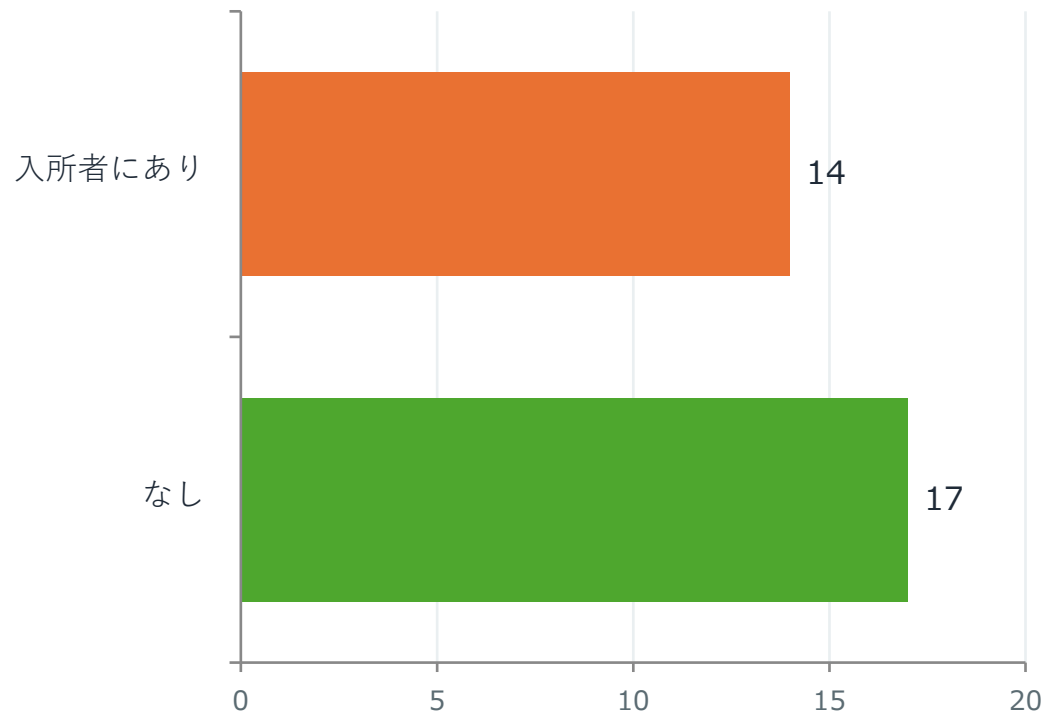
入所者の感染規模(発生27施設の内訳)



Q. 感染者の重症化とワクチン接種状況

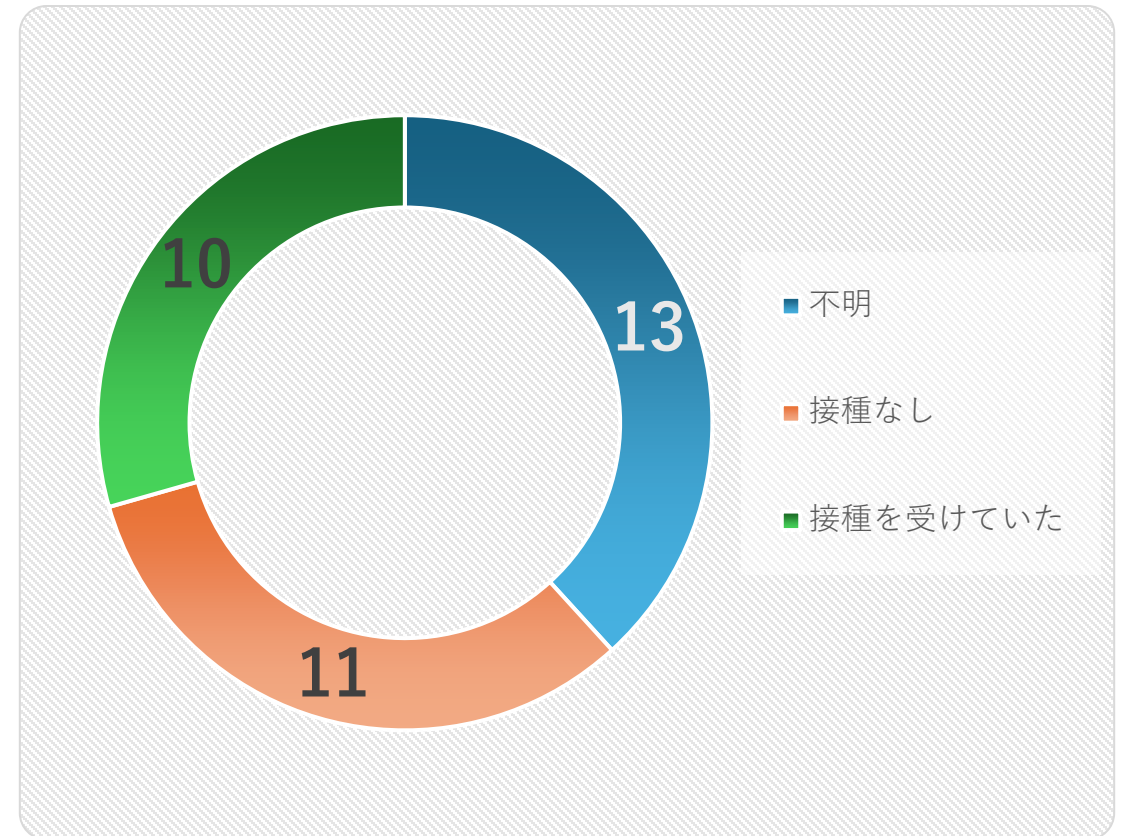
感染が発生した施設における状況

Q. 重症化・転院した方の有無



※ 重症化ありの内訳: 1~4名 12施設 / 5~9名 1施設 / 20名以上 1施設
 ※ 通所者の重症化・転院は0施設

Q. 感染した方のワクチン接種状況



※ 「不明」が最多。感染者の接種歴の把握が難しい実態がうかがえる

介護老人保健施設 ハートランド・ぐらんぱぐらんま ワクチン接種状況(令和7年12月~令和8年2月)



平均入所者数

90 名

ワクチン接種者数

76 名

未接種者数

14 名

R8年1月以降の施設入所者コロナ感染

0 名

施設内感染対策:施設内マスク着用を継続

Q. 都への要望(自由記述・17件)

主な内容を3つのテーマに整理

1

ワクチン接種の無料化・公費負担

関連する記述 7件

接種の無料化・全額補助を望む声が最多。独立型老健など区市町村の支援が使えない施設では実費負担が課題。重症化リスクの高い高齢者が接種しやすいよう公費負担の拡充を求める意見も。

2

検査キットの配布・購入補助

関連する記述 6件

抗原検査キットの配布支援や購入補助の再開を求める声。インフルエンザキットの配布により、受診させず施設内療養を進めたいとの要望もあった。

3

治療薬の費用負担への支援

関連する記述 3件

特例終了(5/31)により治療薬が施設の全額負担となり厳しい。保険適用、または国・自治体による補助の継続を求める声。

そのほか:「自治体によって予診票が異なるため、都で統一してほしい」「感染拡大時の補助金があると助かる」「今後も要介護者への補助を」等の声あり

高齢者施設でワクチン接種が必要な理由



高齢者施設は「重症化ハイリスク者の集中」と「集団感染の起こりやすさ」という二重のリスクを抱えている。

入居者と職員、双方への接種が、施設全体を守る鍵となる。



ハイリスク者の集中

入居者の多くは高齢で複数の持病を抱え、重症化リスクが高い。



密な集団生活・ケア

食事・入浴・介助など近距離の接触が多く、一度ウイルスが持ち込まれると広がりやすい（クラスター）。



職員を介した持ち込み

職員は日常的に曝露のリスクがあり、外部からウイルスを施設内に持ち込む経路になりうる。

新型コロナウイルス感染症に関するWHOの現在の見解

最優先される定期接種を推奨すべき高リスク層



高齢者



基礎疾患・重度肥満のある高齢者



ケア施設
長期療養施設の入居者



中等度～重度の免疫不全の人



接種スケジュール：年1回以上、できれば6か月間隔で2回。

未接種でも、前回接種から6か月超でも対象。最後の接種から約6か月で重症化予防が低下するため。

回数は費用対効果・実行可能性も考慮。

26年度のイングランドにおけるワクチン接種施策について

接種対象者（2026年秋）

75 歳以上

高齢の成人

75歳以上のすべての
成人

介護 施設

介護施設入所者

高齢者向け介護施設
(care home) の
入所者

免疫不全

免疫不全の方

生後6か月以上で
免疫不全の方

公衆衛生担当大臣（英国 保健社会福祉省）コメント

「**高齢者**および**免疫不全の方々**は、依然として**COVID-19による重症化リスクが最も高い集団**です。JCVIの専門的な助言に従い、**2026年秋も、最も恩恵を受けやすい方々に再びワクチン接種を提供します**。この決定は、脆弱な人々が確実に守られるよう、ご自身を守るために接種を受けていただくことをお勧めします。」

GOV・UKのホームページより作成

<https://www.gov.uk/government/news/advice-accepted-on-autumn-2026-covid-19-vaccination-programme>

Press release

Advice accepted on autumn 2026 COVID-19 vaccination programme

The government has accepted advice from JCVI on eligibility for the autumn 2026 COVID-19 vaccination programme.

From: [Department of Health and Social Care](#) and [Sharon Hodgson MP](#)

Published 23 March 2026



On 23 March 2026, the government decided, in line with JCVI advice, that the cohorts eligible for vaccination in England in autumn 2026 are:

- adults aged 75 years and over
- residents in care homes for older adults
- individuals aged 6 months and over who are immunosuppressed, as defined in the [COVID-19 chapter of the green book](#), the UK Health Security Agency's information on immunisation against infectious disease

Eligibility in autumn 2026 is the same as in the spring 2025, autumn 2025 and spring 2026 campaigns.

Public Health Minister, Sharon Hodgson, said:

"Older adults and individuals who are immunosuppressed continue to be at the highest risk of serious disease from COVID-19. Following the expert advice of JCVI, we will once again offer vaccinations to the groups most likely to benefit in autumn 2026.

"This decision ensures that vulnerable people remain protected and gives the NHS the certainty it needs to prepare and deliver the programme efficiently. I encourage everyone who is invited to take up the offer of vaccination to protect themselves."

The government has accepted advice from the Joint Committee on Vaccination and Immunisation (JCVI) on eligibility for the autumn 2026 COVID-19 vaccination programme.

JCVI, the independent expert committee on COVID-19 vaccination, published [advice on 16 July 2025](#). In line with this advice, the government has accepted the higher risk of serious outcomes from COVID-19 for these groups.

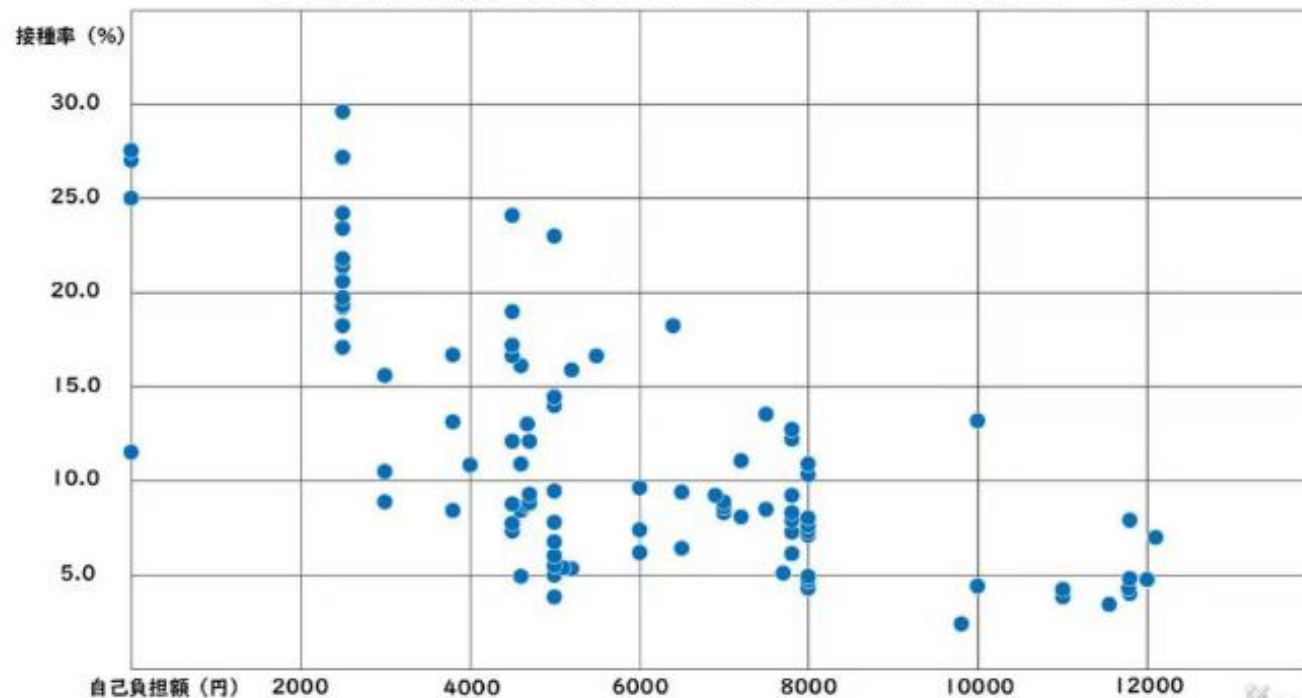
On 23 March 2026, the government decided, in line with JCVI advice, that the cohorts eligible for vaccination in England in autumn 2026 are:

新型コロナワクチン接種率（定期接種）と自己負担額（2025/2026シーズン）

時事通信社・地方行財政調査会による新型コロナワクチンの定期接種対象者の自己負担額と接種率に関する調査

- 調査対象： **109団体**（政令指定都市、中核市、県庁所在地、東京特別区）
- 回答数（回収率）： **106団体**（97.2%）
- 2024、2025年度の新型コロナワクチンの定期接種について、以下を調査した
 - 自己負担軽減措置の実施状況
 - 自己負担額（自己負担額を定めていない団体は標準的な接種費用1万5000円と助成額の差額）
 - 接種率

【図表】 定期接種対象者の自己負担額と接種率の相関



- 前年度比自己負担増： **84団体**
- 前年度比接種率低下： **101団体**
- 接種率上位：
 - 東京都北区（**29.6%**） 自己負担額**2500円**
 - 渋谷区（**27.5%**） **無料**
 - 荒川区（**27.2%**） **75歳以上無料**

2025年度の自己負担額と接種率の相関： 自己負担額が高いほど接種率は低い傾向

ま と め

「喉元過ぎていない新型コロナウイルス感染症」

- 新型コロナウイルス感染の報告数は減少しているが、高齢者においては未だに入院、死亡につながる注意すべき疾患である。特に高齢者施設等でのクラスターの発生が問題である。
- 新型コロナウイルス感染症のワクチン接種は、季節性インフルエンザと同様にB類定期接種に位置付けられたが、接種率はインフルエンザより低く、更に住居地で異なる自己負担額の多寡や接種勧奨の通知方法により「接種率」が大きく左右される。
- 高齢者の命を守る施策が住居地によって格差があることは看過できない。
- 尊い命と引き換えに得られた膨大なデータとエビデンス、並びに現在の諸外国の対応状況から、少なくとも感染弱者が集まる高齢者施設等の入所者、通所者に対しては無償でワクチン接種を実施することを強く要望する。